

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療安全管理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	加藤 智久	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として病院勤務			
《授業科目における学習内容》						
1. 医療・看護行為、医薬品、医療器具、患者に存在する危険を認識する能力をもつ重要性を理解し、「してはならないこと」と「すべきこと」、またその根拠・理由も含めて医療安全の観点を学ぶ。 2. 看護事故の構造分類から事故防止の考え方、事故の発生要因とその防止について学ぶ。 3. 安全対策の基礎的知識を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
1、定期試験または実技試験;70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%						
《授業外における学習方法》						
授業1回あたり1時間から1時間30分の授業外学習(事前課題、予習、復習)が前提です。						
《履修に当たっての留意点》						
医療や看護援助には常に危険が伴うことを認識し、安全意識の向上と事故防止の視点を養って欲しい。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヒューマンエラーの定義、間違い、エラーを起こすメカニズムについて説明できる。医療安全を学ぶことの必要性について説明できる	PC プロジェクター	教科書を事前に読んで予習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	医療安全を学ぶことの意義 ・人はなぜ間違いをおこすのか ・意識水準の変動と医療安全を学ぶことの意義 ・人間の3つの行動モデルと医療安全を学ぶことの意義 ・看護職を選ぶことの重さと安全努力の責務			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療事故の定義、医療事故における過失について説明できる	ビデオ (患者確認は安全管理の第一歩) PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	医療事故とは ・医療行為との関連 事故の視点での看護業務の理解			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	患者ケアにおいて起こりうる事故・ヒヤリ・ハットを理解し、実習で気をつけるポイントについて説明できる	GW用A4用紙 PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 実習中に経験したヒヤリ・ハットと事故防止についてまとめておくこと	
		各コマにおける授業予定	GW「病院実習を通してわかった感じた医療安全」 学生が経験したヒヤリ・ハットについて意見交換し、事故防止について考える			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	KYTについて理解し、説明できる。	PC プロジェクター 演習資料	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	色々なKYTをGWにて検討し、改善に向けて発案できるようになる。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	さまざまな業務における患者間違い、多重課題、タイムプレッシャー、業務中断、新人特有の行動パターンについて説明できる。事故の未然防止上重要なコミュニケーションについて説明できる。	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 医療安全とコミュニケーション			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	組織的な安全管理体制の考え方について述べることができる。	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	組織的な安全管理体制への取り組み		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	滅菌と消毒について基礎的な考え方を理解する	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	滅菌と消毒について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの医療安全対策の概要について説明できる	PC プロジェクター	前回授業内容に係わる小テストをするので復習しておくこと 指定した教科書を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	医療安全対策の国内外の潮流		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	真菌・原虫の性質、微生物について説明できる	テキスト 配布資料 AV機器他	テキストを読み予習する。
		各コマにおける授業予定	微生物と微生物学 細菌、真菌、原虫の性質		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症とウィルスの性質について説明できる	テキスト 配布資料 AV機器他	テキストを読み予習する。 授業内容のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	感染症とウィルスの性質		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫について説明できる	テキスト 配布資料 AV機器他	テキストを読み予習する。 授業内容のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	感染に対する生体防御機構1		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感染源・感染経路について説明できる。	テキスト 配布資料 AV機器他	テキストを読み予習する。 授業内容のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	感染に対する生体防御機構		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の検査と診断 感染症の現状と対策について説明できる。	テキスト 配布資料 AV機器他	テキストを読み予習する。 授業内容のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	感染症の検査と診断 感染症の現状と対策		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の治療について説明できる。	テキスト 配布資料 AV機器他	テキストを読み予習する。 授業内容のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	感染症の治療		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	真菌・原虫・ウイルスについて説明できる。	テキスト 配布資料 AV機器他	テキストを読み予習する。 授業内容のまとめをする。
		各コマにおける授業予定	真菌・原虫・ウイルス		